小6 中学受験 算数 はってん こたえ　名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

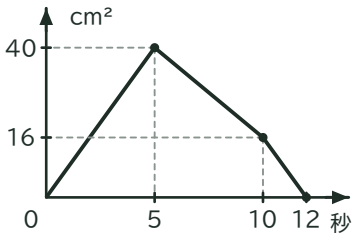
点の移動とグラフ

＿＿＿月＿＿＿日

1 円周や辺の上を動く点 発展

次の問いに答えなさい。

(1) 図形ABCDは、ADとBCが平行で、角Bが直角の台形です。点Pは頂点Bを出発して、辺BC、CD、DAの上をC、D、Aの順に毎秒2cmの速さで動きます。グラフは、点Pが頂点Aに着くまでの、三角形ABPの面積と、出発してからの時間の関係です。台形ABCDの面積は何cm²ですか。

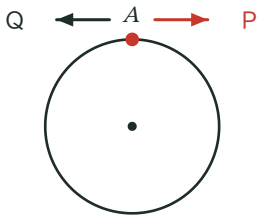


$12-10=2$　$2\times2=4$　$2\times5=10$　$40\times2\div10=8$
$(10+4)\times8\div2=56$　答え 56cm²

2 2点の動き(辺の上・円周上) 発展

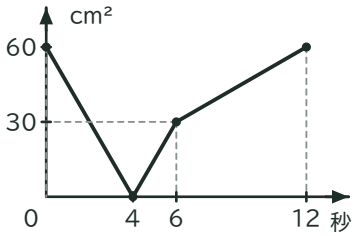
次の問いに答えなさい。

(1) 図の円の周の上を、点PとQが、同じ点Aから、同時に反対の向き(矢印の向き)に動き出します。Pは36秒で、Qは45秒で、円を1周します。PとQが、円の中心をはさんで反対がわ(直径の両はし)にくるのは、出発してから2回目に、何秒後ですか。



$360\div36=10$　$360\div45=8$　$10+8=18$
$180+360=540$　$540\div18=30$　答え 30秒後(1回目は2人で合わせて180°、2回目はさらに1周の360°進んだとき)

(2) 長方形ABCDの辺BC上を、点PはBからCへ、点QはCからBへ、それぞれ一定の速さで、同時に出発して動きます(着いたら止まります)。点Pのほうが速く、BC=12cmです。グラフは、三角形APQの面積と、出発してからの時間の関係です。点P、Qの速さは、それぞれ毎秒何cmですか。



$12\div6=2$　$12\div12=1$　答え P 毎秒2cm、Q 毎秒1cm(グラフの折れ目の6秒でPがCに、12秒でQがBに着く)

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら